

# 環境報告書ガイドライン案 5分野に整理 - 環境省 -



環境省は、2003年度版環境報告書ガイドライン(案)をまとめました。同ガイドラインは今年はじめに出された環境パフォーマンス指標(2002年度版)をベースに記載事項を5分野25項目に整理しており、前回発行の2000年度版に比べて内容を充実させているのが特徴です。また、現在検討中の第三者による審査基準についての検討を進めています。計画ではパイロット事業を実施したのち、2004年度から本格的に立ち上げることとなっています。そのため今回のガイドラインでは、参考として審査基準と記載事項の関係についての記述を盛り込む考えです。環境省は来年度の環境報告書作成への利用を念頭に年内をめどに発行する考えです。

まとめられたガイドラインは、環境パフォーマンス指標の改定やグローバル・リポーティング・イニシアティブ(GRI)による「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン(2002年度版)」などです。二部構成となっており第一部では環境報告書の定義、基本的機能および原則について、第二部では環境報告書に必要と考えられる記載事項についてまとめられています。

内容をみると記載事項は基本的項目、環境経営方針・目標・実績などの総括、環境マネジメントに関する状況、環境負荷の低減に向けた取り組みの状況、社会的取り組みの状況の5分野に整理されており、2000年度版に比べて社会的取り組みの状況が増えています。また環境負荷の低減に向けた取り組みについては、改定された環境パフォーマンス指標をベースに、2000年度版の7項目から11項目に拡充されており、各項目とも定量的および定性的に記述する内容となっています。

資料: 2003年9月19日付 化学工業日報

機器分析箇所 岡田 伸美

事業内容

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析  | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明   | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定     |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理       |
| 4 水道法第20条に基づく水質検査    | 8 委託試験・研究・開発          |

